

大船中央病院がNEWSです!

第1回 現場にアタック 検体検査を知りたい!



ひとつひとつの質問に丁寧に答えてくれた小林さん

―臨床検査技師になって十五年、

小林千哲氏(以下小林)にインタビュー

*聞き手 知りたい委員会(以下知委)

知委 今度、検査科に新しい機械が入りますが、それによって患者さんから見るとメリットはありますか?

小林 検査データが上がるまでの時間が短縮されることが最大のメリットかと思っています。

知委 病院に来て「待つ」ということのストレスが軽減されるのは大きいですね。

小林 同じ待つにしても「あと、どれくらい」と目安が説明できれば患者さんも安心すると思います。

知委 速さと正確さの向上はすなわち、待ち時間の短縮に繋がるわけですね。

小林 さらに、現在、外注依頼をかけている検査が院内でできるというメリットもあります。

あなたが急な病気になるって医師の診断を受けたあと検査することになりました。採尿・採血と結果が出るまでの待っている時間はとてもストレスに感じます。この検査結果がすぐに正確に出たら、病院でのストレスもすこしは軽減され、なにより早く患者さんの苦しみを取ってあげられるかもしれません。臨床検査技師の方々は、日頃から患者さんを待たせないよう様々な工夫をしています。なかなか表には見えてこない部分なので、どのような工夫がされているのか気になるところです。そこで、検査の最前線にいる職員に、日常の業務からプライベートなことまでを伺うため、現場にアタックしてきました。

あなたに急な病気になるって医師の診断を受けたあと検査することになりました。採尿・採血と結果が出るまでの待っている時間はとてもストレスに感じます。この検査結果がすぐに正確に出たら、病院でのストレスもすこしは軽減され、なにより早く患者さんの苦しみを取ってあげられるかもしれません。臨床検査技師の方々は、日頃から患者さんを待たせないよう様々な工夫をしています。なかなか表には見えてこない部分なので、どのような工夫がされているのか気になるところです。そこで、検査の最前線にいる職員に、日常の業務からプライベートなことまでを伺うため、現場にアタックしてきました。

小林 進歩は著しいです。以前は検査を手作業で行っていました。いわゆる用手法というもので、なかでも計算板を使って血液の中の白血球数、赤血球数を量るのは手間のかかる作業のひとつでした。現在は機械が行いますが精度を保つための管理が必要になってきます。常に安定した精度を保ち、管理することが今の検査技師には重要となっています。

小林 患者さんにとってみれば、昔に比べて、検体量つまり採る血液の量が少なくなり患者さんにかかる負担は大きく減りました。

知委 そのお話と次の質問は少しつながるのですが、患者さんから採血をする際、一番気をつけていることは何ですか?

小林 当たり前かもしれませんが、必ず1回で採血することです。採血室が混んだときでも、ていねいに、痛みを感じないように患者さんの表情を見ながら緊張を和らげる対応を心掛けています。

知委 忙しい中、時間を割いて頂きありがとうございます。

小林 (笑) ・・・お笑いですが!(笑)

知委 人と関わるのが好きなので「笑い」はつながりを作る大切なツールですね。本日は忙しい中、時間を割いて頂きありがとうございます。

小林 (笑)

知委 ありがとうございます。

小林 (笑)

知委 ありがとうございます。

小林 (笑)

知委 ありがとうございます。

小林 (笑)

知委 ありがとうございます。

医療法人から社会医療法人になった大船中央病院。今まで以上に患者さんの目線に立った医療の提供が求められます。大船中央病院を知りたい委員会では、もっとオープンに大船中央病院についてどこまで話せるのかの想いから新聞を作りました。

中央検査室が大幅にレイアウト変更を実施



(新採血室 イメージ図)

呼出ディスプレイ

- 待ち時間
- 呼び出し番号
- 保留番号
- インフォメーション等を表示します

個人名をお呼びすることなく、番号で順番をお知らせします。

パーティション

患者さんのプライバシーに配慮して仕切りが設けられました。

検査科では十一月頃、新システムを導入します。新しい検査科は、①少しでも快適に採血できるような整備されます(イメージ図)。②そして検査結果が早く正確に出るようになります。従来の約3割増しにスピードアップします。③特殊検査(甲状腺機能や腫瘍マーカーなど)も結果がすぐ出ます。これはほとんどの病院で導入されていないシステムです。④輸血もシステム化されます。これにより安全性が高まります。

採血検査は病院の要です。新しい中央検査室にご期待ください。

ペットボトルキャップを集めて世界のこどもにワクチンを届けよう

千里の道も一歩から ペットボトルで社会貢献



皆さん、医局でペットボトルのキャップを集めているのを知っていますか? 実は、医局秘書天野蘭子さんの呼びかけで2009年9月頃より始まった小さな社会貢献なのです。800個のキャップで200円のワクチンになり、それがこども一人の命を救えるのだそうです。

医局では、すでにダンボールいっぱい詰めたキャップを2回、エコキャップ事務局に送ったとのこと。

千里の道も一歩から。まずはできることから始めてみるのもいいかもしれません。

リレーコラム 想いはつながる



大船中央病院は平成22年4月から社会医療法人になりました。でも医療法人の前に付く「社会」って何でしょうか? 「大船中央病院を知りたい委員会」ではこの「社会」という言葉(概念)を職員の方々と一緒に考えていきたいと思います。

世の中には、社会とかソーシャルという言葉をたくさん耳にすると思います。そこでこれらのキーワードを私たちそれぞれが理解している範囲で説明してみようと思います。

ただし、あくまでも主観です、あしからず。

皆さんも意見をください。

リレーコラム 想いはつながる 第1回 社会事業(ソーシャルビジネス)

皆さん、ソーシャルビジネスという言葉を知っていますか? 最近ではあのユニクロがパングラデシユの国民銀行と提携して、貧困などの社会的課題の解決をめざす合弁会社を設立し、貧困層に購入可能な価格設定で衣料を企画・生産・販売するとともに、雇用を生み出すことでパングラデシユの人々の生活改善をサポートするといった発表があったのをニュースや新聞で見聞きした人もいると思います。日本経済界における圧倒的勝ち組のユニクロ柳井会長は、成長なくして企業にあらざる、つまり利益を倍どころか10倍単位で増やしていく、それが必要と言っています。でも、ちょっと待ってください、儲けたお金はどこにいくのでしょうか、何に使われるのでしょうか? 「そんな社長の懐だろう」確かに社長にかなり還元されますね。でも正しくは株式会社では、利益を公平に分配するために配当金として株主に支払われます。お金を持っている株主が投資する↓投資された会社が儲かる↓株主に利益がもたらされる、という構図は市場主義というアメリカ的考え方の実態です。金を儲けたやつが偉いという拝金主義。でも、私たちが生きていく上で不徳(徳)という言葉は古くから得ではないです。社会は何か変、そんなの嫌だと思いませんか? じゃあお金は罪悪だ、ボランティアこそ徳の高行だ、自分は清貧で暮らす、というのが古来日本的考え方もありました。でも、これもちょっと待って。だって今日のあなたの功徳(良いこと)を明日も続けるためには、今日の食いぶち

大船中央病院は「社会医療法人」なんです!

(自分の食べるものを買えないと困るでしょ)と明日の活動費(物や人や場所代など何かをするためにはお金が必要でしょ)が得られないことには何も続けられないですよ。だから例え善意であってもやはりその行為に対してお金をもらおうこと(対価といいます)は必要なことになります。「色気を出して儲けも取っちゃおうかな」そうですよ、それだけの価値があるサービスができれば相手は納得して払ってくれます。儲かったお金を何に使いますか? 自分が儲かってお金持ちになれば幸せですか? ▼実は、グローバルな時代といわれるようになって、お金も幸せと思わない人たちが1990年ころから世界で増えてきたんです。で、儲けたお金は社会貢献のために使おう、社会貢献のためにお金儲けしようと考えた人たちがいました。お金儲けは「ビジネス」です。でも、利益は自分のためではなく社会のため、すなわち「ソーシャル」に使う。元々対極にある概念が結びついたのが社会事業「ソーシャルビジネス」です。▼事業そのものが社会的かどうかは関係ありません。つまり、私たちが得ることができた余裕(お金の時間や能力など)を社会貢献、言い換えると、人のために使うというのが「ソーシャル」、「社会」という言葉の意味です。

●興味があれば読んでみて

「社会を変える」を仕事にする「社会企業家という生き方」

駒崎弘樹著(英治出版)1400円税別
「200円」で世界をつなぐ仕事 小倉真久著(JMAM)1400円税別